

議案第17号 平成30年度八千代市一般会計予算の組替えを求める動議について

上記の動議を会議規則第16条の規定により提出します。

平成30年3月16日

八千代市議会議長 西村幸吉 様

提出者	八千代市議会議員	原	弘	志
賛成者	八千代市議会議員	植	田	進
	同	堀	口	明子
	同	高	山	敏朗
	同	三	田	登
	同	伊	原	忠

## 提案理由

### 1 組替えを求める理由

服部市政になって初めての予算案であるが、市長の大きな公約についてみると、東葉高速鉄道の運賃の値下げなどにかかわる予算措置はとられていない。市民の強い要望であったエアコン設置にかかわる調査費などは反映されている。しかし、緊急かつ切実な要望に対して、なお不十分である。

保育園の待機児童は増え続けており、喫緊の課題であるにもかかわらず、新設保育園は追いついていない。さらに、高齢者の見守りや生涯学習につながる支援も遅れている。

自治体本来の役割である「福祉の増進」と市民サービスに応えられる職員の健康と向上心を取り戻すための組替えを求める。

### 2 組替えの基本方針

- (1) 喫緊の課題である保育園の新設予算をはじめ、子供から高齢者までの支援をする観点から組替えを求める。
- (2) 職員の健康と仕事への向上心は市民サービスにつながるもの。時間外勤務手当を減らすことで、市民の暮らし優先の予算へと切り替える。

### 3 組替えの内容

歳入では、財政調整基金の取り崩しと時間外勤務手当の20%カットを行う。毎年、人件費の予算額と決算を照らし合わせてみると、1億円から2億円の残が出ている。時間外勤務手当の20%カットはあくまでも目標値ではあるが、予算の中から1億円は見込めるものとする。

歳出では、まず高齢者の見守りでもある配食サービスを、以前のように300円に戻す。利用者数と回数の減は、高齢者が危険な状態であることに気づきにくくなる。また、地域図書館の予算減は、中央図書館に行きにくい方々へのサービス減であり認められない。最低でも1館当たり300万円を維持するために、250万円増とする。

また、3・11東日本大震災の影響で不安を拭えない方々がいることから、

甲状腺がんの検査を実費で受けている方への支援が必要である。現在の待機児童を解消するには90人規模の保育園を新設する予算を増額しなければならない。特別支援学級の人件費増も担任の先生のゆとりと子供の安全面の確保につながる。

最後に電子決裁機能を含む統合型内部情報システムの導入経費は、将来を見据えた先行投資だが、職員の時間外勤務手当カットにつながるものとして組み込み、市民サービス向上と福祉の増進を目指し、組替えを求める。

## 歳入

(単位：千円)

費目	金額	備考
財政調整基金	149,860	取り崩し額の増
人件費	100,000	時間外勤務手当の20%減額
計	249,860	

## 歳出

(単位：千円)

費目	金額	備考
配食サービス費	27,000	100円を300円に戻す
図書館図書購入費	2,500	勝田台50万円増、八千代台・大和田100万円増
甲状腺がん検査費用	360	3,000円/1人×120人
統合型内部情報システム導入費	0	債務負担行為にてH31-36年度に総額874,230千円を設定
民間保育園施設整備事業費	200,000	90人規模の民間保育園新設補助費
特別支援学級の人件費	20,000	1学級介助員3時間分増員。時給1,000円で220日×学級数
計	249,860	